
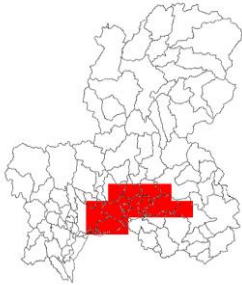


オオアオスゲ	<i>Carex lonchophora</i> Ohwi	絶滅危惧II類
		カヤツリグサ科
選定理由	生育地が限定されており、継続的な減少が予測されるため。	写真(清水英彦)
形態の特徴	叢生し、基部は白色～淡褐色。苞は葉状で花序よりも高くなり、最下の鞘は普通1cm以上の長さになる(大型のアオスゲでも1cm未満)。頂小穂は雄性、紡錘体。雄鱗片、雌鱗片とも白色で中脈緑色、鋭頭長芒端。果胞はアオスゲよりも細身で、脈が多く、有毛、嘴は短く、口部は2歯。花期は4-5月。	
生態的特徴	山地の林床や林縁に生育する多年草。	
分布状況	本州(関東地方以西)・四国・九州に分布し、岐阜県では県南中部に分布する。	
減少要因	開発に伴う山林伐採。	
保全対策	山林の保全。	
特記事項		
参考文献	勝山輝男. 2005.「ネイチャーガイド 日本のスゲ」. 文一総合出版, 東京. 星野卓二・正木智美・西本眞理子. 2011.「日本カヤツリグサ科植物図譜」. 平凡社, 東京.	

文責: 清水英彦